



# 第6次高畠町総合計画

2019-2028

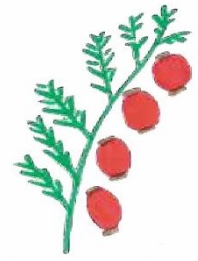
笑顔があふれ、温かいつながりが  
実感できるまちをめざして

あふれる  
うふふ  
ゆきかう  
またね  
∞ ∞

指標の達成状況及び  
施策評価  
(令和3年度)

高 畠 町





1.将来像と基本目標の体系図について……………1

2.基本計画における関連指標について……………2

3.評価区分について……………2

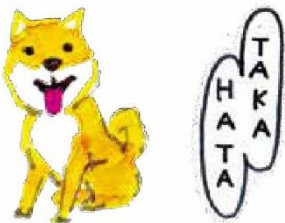
4.指標の達成状況

    (1)個別指標の進捗状況……………3

    (2)「めざす町の姿」ごとの進捗状況……………4

    (3)「まちづくりの基本目標」ごとの進捗状況……………5

5.各評価区分における前年度(令和2年度)との比較……………6



# 1. 将来像と基本目標の体系図について

令和元年度を初年度とする第6次高島町総合計画(令和元年度～10年度)において、みんなでめざす町の将来像を「ゆきかう「またね∞」あふれる「うふふ∞」」と表現しました。

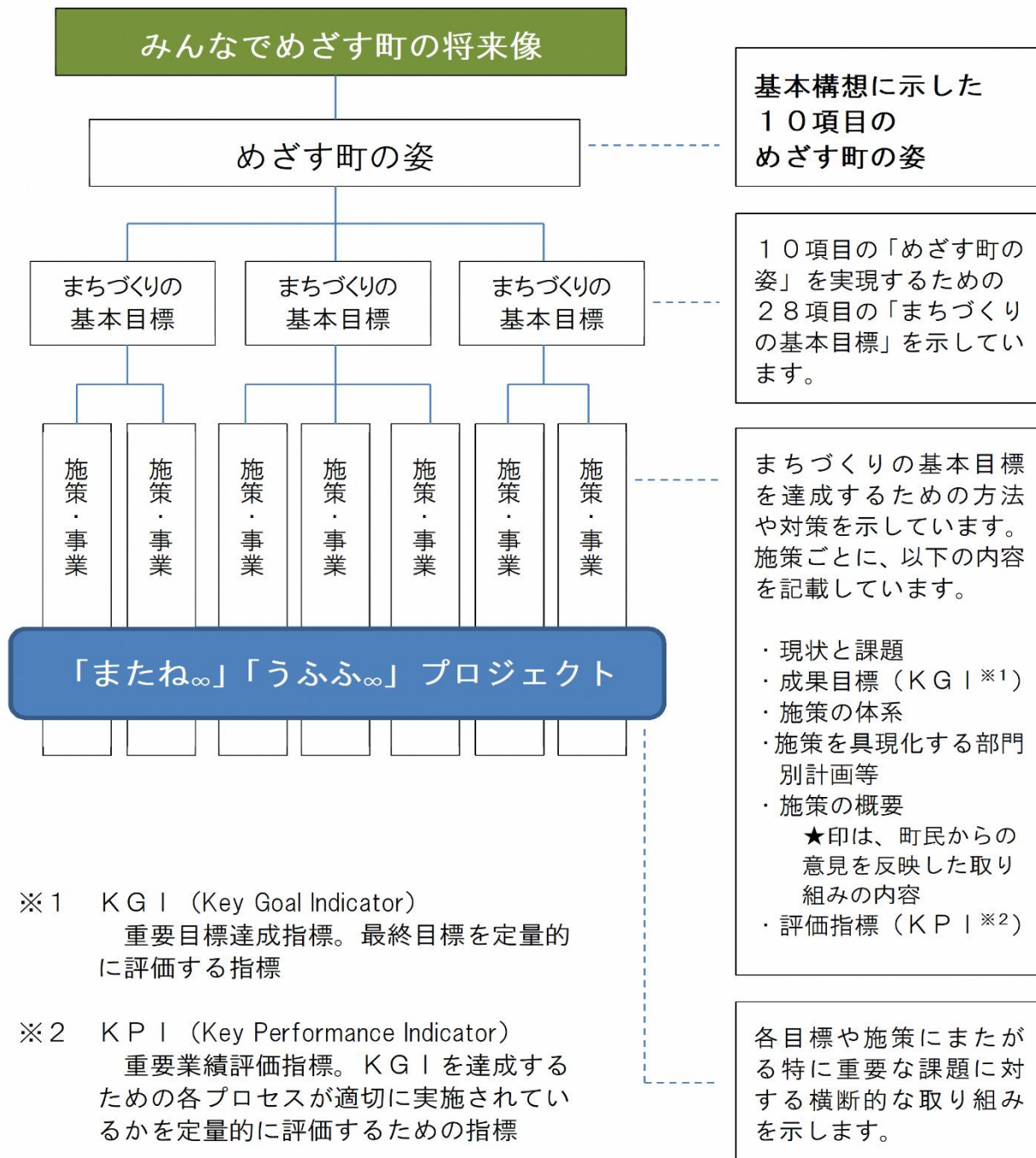
高島町の未来において一人ひとりが『しあわせ』になることを実現するため、ライフステージごとに10項目の「めざす町の姿」を設定し、28項目の基本目標を掲げています。

将来像	共通視点	ライフステージ	めざす町の姿	まちづくりの基本目標		
ゆきかう「またね∞」あふれる「うふふ∞」	楽しむ(うふふ) × つながる(またね) × 未来へつなぐ(∞無限大)	高島町で暮らす人の「しあわせ」のために	「生まれてくる」ひとのために	高島町で子どもを産み育てたい人が増えている	新しい家庭を築き、家族を増やすことを応援する 安心して子どもを産める環境やサポート体制を整える	
			「育つ」ひとのために	みんなが楽しみながら子どもを大切に育てている	子どもが健康にすくすく育つ環境を整える 子育ての負担を軽減する環境やサービスを増やす 課題を抱える子を育てる親が安心できる環境を整える	
			「学ぶ」ひとのために	学びの場が充実して、魅力ある“高島人”が育っている	子どもたちの中にある力を伸ばす教育を行う 学ぶ気持ちを大切にし、地域の教育力をアップさせる 「ちがいに」を認めることができる人を増やす	
			「働く」ひとのために	技の継承と新たな取り組みで、産業に活力が生まれている	若者があこがれる「カッコいい」産業を増やす 資源や人のつながりで、地域産業を盛り上げる	
				夢や希望が実現しライフスタイルに合った働き方ができている	一人ひとりの生活にあった多様な働き方の選択肢を増やす 新しいビジネスを創出しやすい環境を整える	
			「暮らす」ひとのために	安心して生活できる環境があり、心豊かに暮らしている	自然とともに、心豊かな暮らしを楽しむ人を増やす 安心して快適に生活できる環境を整える みんなが地域に気を配り「もしも」の時に助け合えるしきみを広げる	
				一人ひとりが健やかで、ゆるやかに支え合っている	生涯にわたって健康で活動的に生活できる人を増やす 地域の中でゆるやかに支え合うしきみを広げる	
			「年を重ねた」ひとのために	年を重ねても誰もが自分らしくいきいきと暮らしている	生きがいを持ち人生を楽しんでいる人を増やす 住み慣れた地域で、安心して暮し続けられる環境を整える	
			「次世代の」ひとのために	みんなで未来に向けたまちづくりを進めている	地域の自然や生態系を守る活動を広げる	持続可能な環境づくりに取り組む人を増やす
					歴史、文化遺産を守り活用し、伝承する人を増やす	夢や志を持ち活躍する若者を増やす
		協働でまちづくりを進めるための環境を整える				
		高島町とつながる人に	「町外に暮らす」ひとのために	高島町の魅力が伝わり、訪れる人、戻る人、移り住む人が増えている	町内外に町の魅力を効果的に発信する 高島町ならではの発想による観光を生み出し、訪れる人を増やす 交流力を高め、高島町を応援する人や地域を増やす 移住・定住しやすい環境を整え、戻ってくる人、移り住む人を増やす	

## 2. 基本計画における関連指標について

28項目のまちづくりの基本目標を定め、それぞれに成果目標を設定しています。そして、目標達成のため施策を設定し、一つひとつに具体的な数値等で示した115の関連指標を設定しています。

指標は、前期計画の最終年度である令和5年度の目標値に対し、達成状況を毎年確認し、公表することとしており、今回は計画の3年目となる令和3年度の達成状況等について分析・評価したものです。



## 3. 評価区分について

5年後の目標値への達成状況に応じて、「◎」「○」「△」「×」の4段階・記号を用いて評価します。評価基準は次のとおりです。

◎⇒5年後の目標値に達成
○⇒現状値から改善 ・積み上げの数値目標の指標においては、順調に数値を伸ばしている場合 ・単年度ごとの数値をもって比較する指標においては、現状値より実績がある場合
△⇒現状値と同等 ・現状値から数値が伸びず、現状値と同等であった場合 ・年度中に評価指標を測るための調査がない場合
×⇒現状値より後退 ・様々活動や取組を行っても現状値より後退した場合

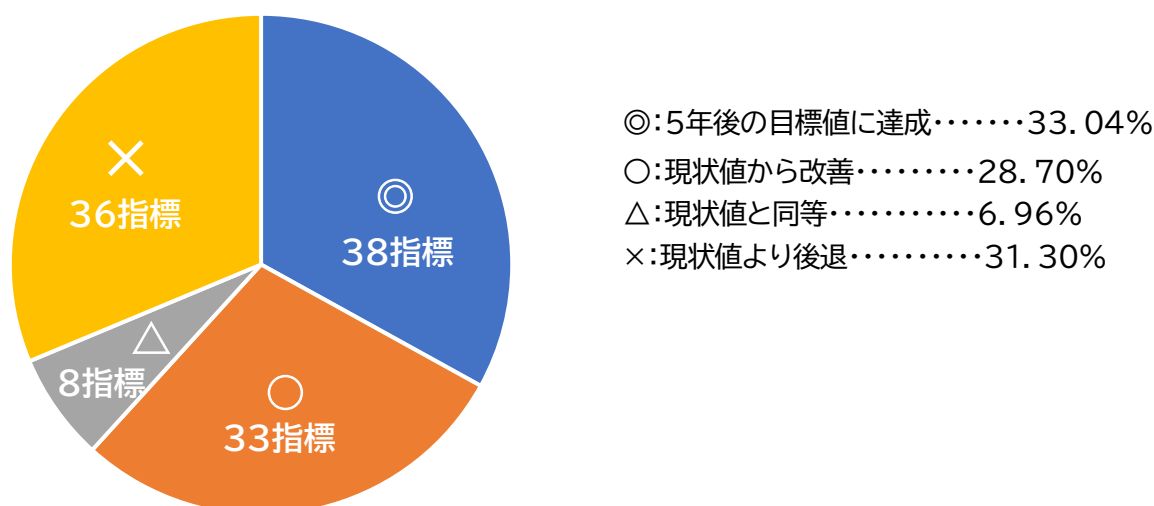
#### 4. 指標の達成状況

##### (1) 個別指標の進捗状況

まちづくりの基本目標ごと合計115の評価指標を設定し評価を実施しました。

No.	めざす町の姿	まちづくりの基本目標	指標数
1	高島町で子どもを産み育てたい人が増えている	①新しい家庭を築き、家族を増やすことを応援する	3
		②安心して子どもを産める環境やサポート体制を整える	4
2	みんなが楽しみながら子どもを大切に育てている	③子どもが健康にすくすく育つ環境を整える	5
		④子育ての負担を軽減する環境やサービスを増やす	6
		⑤課題を抱える子を育てる親が安心できる環境を整える	2
3	学びの場が充実して、魅力ある“高島人”が育っている	⑥子どもたちの中にある力を伸ばす教育を行う	5
		⑦学ぶ気持ちを大切にし、地域の教育力をアップさせる	5
		⑧「ちがいがい」を認めることができる人を増やす	2
4	技の継承と新たな取り組みで、産業に活力が生まれている	⑨若者があこがれる「カッコいい」産業を増やす	5
		⑩資源や人のつながりで、地域産業を盛りあげる	6
5	夢や希望が実現しライフスタイルに合った働き方ができている	⑪一人ひとりの生活に合った多様な働き方の選択肢を増やす	3
		⑫新しいビジネスを創出しやすい環境を整える	2
6	安心して生活できる環境があり、心豊かに暮らしている	⑬自然とともに、心豊かな暮らしを楽しむ人を増やす	2
		⑭安心して快適に生活できる環境を整える	8
		⑮みんなで地域に気を配り「もしも」の時に助け合えるしくみを広げる	6
7	一人ひとりが健やかで、ゆるやかに支え合っている	⑯生涯にわたって健康で活動的に生活できる人を増やす	6
		⑰地域の中でゆるやかに支え合うしくみを広げる	3
8	年を重ねても誰もが自分らしくいきいきと暮らしている	⑱生きがいをもち人生を楽しんでいる人を増やす	2
		⑲住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられる環境を整える	7
9	みんなで未来に向けたまちづくりをすすめている	⑳地域の自然や生態系を守る活動を広げる	5
		㉑持続可能な環境づくりに取り組む人を増やす	4
		㉒歴史、文化遺産を守り活用し、伝承する人を増やす	2
		㉓夢や志を持ち活躍する若者を増やす	4
10	高島町の魅力が伝わり、訪れる人、戻る人、移り住む人が増えている	㉔協働でまちづくりを進めるための環境を整える	3
		㉕町内外に町の魅力を効果的に発信する	2
		㉖高島町ならではの発想による観光を生み出し、訪れる人を増やす	5
		㉗交流力を高め、高島町を応援する人や地域を増やす	5
		㉘移住・定住しやすい環境を整え、戻ってくる人、移り住む人を増やす	3

【図1】全体的な(各指標の)達成状況の割合



「◎:5年後(10年後)の目標値に達成」した指標は、38指標で全体の33.04%、「○:現状値から改善」した指標は33指標で全体の28.70%となりました。

「△:現状値と同等」は8指標で全体の6.96%、「×:現状値より後退」は36指標で全体の31.30%となっており、現状値から改善となった以上の指標が全体の61.7%となっています。前年度(令和2年度)の同指標が47%でしたので、前年度と比較して全体的に改善または前進する結果となりました。

(2)「めざす町の姿」ごとの進捗状況

No.	めざす町の姿	指標合計	○以上	△以下	◎	○	△	×
1	高島町で子どもを産み育てたい人が増えている	7	57.1%	42.9%	2	2	0	3
2	みんなが楽しみながら子どもを大切に育てている	13	84.6%	15.4%	8	3	1	1
3	学びの場が充実して、魅力ある”高島人”が育っている	12	41.7%	58.3%	4	1	1	6
4	技の継承と新たな取り組みで、産業に活力が生まれている	11	63.6%	36.4%	1	6	0	4
5	夢や希望が実現しライフスタイルに合った働き方ができている	5	40.0%	60.0%	0	2	0	3
6	安心して生活できる環境があり、心豊かに暮らしている	16	81.3%	18.8%	5	8	0	3
7	一人ひとりが健やかで、ゆるやかに支え合っている	9	44.4%	55.6%	2	2	4	1
8	年を重ねても誰もが自分らしくいきいきと暮らしている	9	55.6%	44.4%	2	3	1	3
9	みんなが未来に向けたまちづくりをすすめている	18	66.7%	33.3%	8	4	1	5
10	高島町の魅力が伝わり、訪れる人、戻る人、移り住む人が増えている	15	53.3%	46.7%	6	2	0	7
	合計	115	61.7%	38.3%	38	33	8	36

令和3年度は、令和2年度と比較してすべてのライフステージにおいて改善または前進する結果となりました。めざす町の姿を評価の「○以上」と「△以下」でみると、全10項目のうち、No.3、No.5、No.7の3項目を除いた7項目において「○以上」が「△以下」を上回りました。

No.3、No.5、No.7は、令和2年度より改善しているものの依然として低水準となっており、この項目(ライフステージ)が前年同様にコロナ禍の影響を強く受けていることが推察されます。

また一方で、令和3年度は、No.2とNo.6が令和2年度と同様に○以上の評価が多く高水準となっており、子育て環境や生活環境における指標の達成状況が順調であることがうかがえます。

令和3年度は、全体的に令和2年度より改善または前進しておりますが、順調に進捗している項目と停滞している項目は令和2年度と概ね同じ傾向となっております。

### (3)「まちづくりの基本目標」ごとの進捗状況

まちづくりの基本目標	指標 合計	◎	○	△	×
①新しい家庭を築き、家族を増やすことを応援する	3	1	0	0	2
②安心して子どもを産める環境やサポート体制を整える	4	1	2	0	1
③子どもが健康にすくすく育つ環境を整える	5	3	1	0	1
④子育ての負担を軽減する環境やサービスを増やす	6	4	2	0	0
⑤課題を抱える子を育てる親が安心できる環境を整える	2	1	0	1	0
⑥子どもたちの中にある力を伸ばす教育を行う	5	1	0	1	3
⑦学ぶ気持ちを大切に、地域の教育力をアップさせる	5	2	1	0	2
⑧「ちがいを認めることができる人」を増やす	2	1	0	0	1
⑨若者があこがれる「カッコいい」産業を増やす	5	1	2	0	2
⑩資源や人のつながりで、地域産業をもりあげる	6	0	4	0	2
⑪一人ひとりの生活に合った多様な働き方の選択肢を増やす	3	0	2	0	1
⑫新しいビジネスを創出しやすい環境を整える	2	0	0	0	2
⑬自然とともに、心豊かな暮らしを楽しむ人を増やす	2	1	0	0	1
⑭安心して快適に生活できる環境を整える	8	2	5	0	1
⑮みんなで地域に気を配り「もしも」の時に助け合えるしくみを広げる	6	2	3	0	1
⑯生涯にわたって健康で活動的に生活できる人を増やす	6	0	1	4	1
⑰地域の中でゆるやかに支え合うしくみを広げる	3	2	1	0	0
⑱生きがいを持ち人生を楽しんでいる人を増やす	2	1	1	0	0
⑲住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられる環境を整える	7	1	2	1	3
⑳地域の自然や生態系を守る活動を広げる	5	4	0	0	1
㉑持続可能な環境づくりに取り組む人を増やす	4	1	3	0	0
㉒歴史、文化遺産を守り活用し、伝承する人を増やす	2	0	0	1	1
㉓夢や志を持ち活躍する若者を増やす	4	2	0	0	2
㉔協働でまちづくりを進めるための環境を整える	3	1	1	0	1
㉕町内外に町の魅力を効果的に発信する	2	2	0	0	0
㉖高島町ならではの発想による観光を生み出し、訪れる人を増やす	5	1	1	0	3
㉗交流力を高め、高島町を応援する人や地域を増やす	5	2	0	0	3
㉘移住・定住しやすい環境を整え、戻ってくる人、移り住む人を増やす	3	1	1	0	1
合 計	115	38	33	8	36

No.	めざす町の姿	基本目標	施策	評価指標（KPI）	目標値	現状値	R3末実績	進捗状況	担当課	R3 指標の主な事業	R3 実績値に対する現状分析、今後の取り組み方針など
1)-①-1		①新しい家庭を築き、家族を増やすことを応援する	家庭を築くことについて理解を深める機会をつくります	乳幼児とのふれあい体験の実施回数（年間）	3回	-	0回	×	健康長寿課	出前授業（高校生対象：思春期講座）	新型コロナウイルス感染症対策からふれあい体験は実施できなかったため今後実施に向けて取り組んでいく。高島高校と連携して思春期講座を実施することができた。
1)-①-2			出会うの場や交流できる機会を増やします	結婚推進関連事業への参加者数（年間）	200人	150人	94人	×	生活環境課	高島町結婚推進支援事業	イベント開催数：4回
1)-①-3			結婚する若者や子育て世帯の新生活を応援します	高島町若者定住促進事業による支援件数（累計）	120件	74件	125件	◎	建設課	若者定住促進事業（助成金）	町外からの若者世帯転入の定住実績が順調に推移している。今後も継続して実施する。
1)-②-1	高島町で子どもを産み育てたい人が増えている	②安心して子どもを産める環境やサポート体制を整える	子どもを産み育てたい人を応援します	子育て世代を受け入れできる地域の居場所の数	6か所	2か所	5か所	○	健康長寿課	一般介護予防事業	開設箇所は増加。利用状況を把握し、実施団体と連携を図りながら周知していく。
1)-②-1			子どもを産み育てたい人を応援します	妊娠中、仕事を続けることに対して職場から配慮をされたと思う就労妊婦の割合	95%	83.30%	88.3%	○	健康長寿課	産前産後サポート事業	母子健康手帳交付時などパンフレットの配布を継続、妊娠・出産期に知っておくべき制度等について周知していく。
1)-②-1			子どもを産み育てたい人を応援します	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	90%	84.50%	77.1%	×	健康長寿課	乳幼児健診・健康相談、子育て相談会	ゆとりを持った子育ては年齢が上がるにつれ低下している。早期から子どもの成長発達に関する情報提供等を行い、ゆとりある子育てや適切な対応ができるよう支援していく。
1)-②-2			妊娠から子育てまで、切れ目のない支援を行います	産後、退院してからの1か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受け取ることができたと回答した者の割合	95%	90.40%	95.5%	◎	健康長寿課	妊婦訪問、新生児・産婦訪問	産前産後の電話相談等から緊急性や必要性を判断し、支援を必要とする妊産婦等へ早い段階で支援を実施。今後も継続実施していく。
2)-③-1	みんなが楽しみながら子どもを大切に育てている	③子どもが健康にすくすく育つ環境を整える	地域全体で子どもがのびのびと育つ環境をつくります	子育てボランティア登録数	20人	0人	6人	○	福祉こども課	屋内遊戯場での子育てボランティア事業	夏季休業中の高校生、山形おもちゃの病院のおもちゃ修理、育児講座の講師などのボランティアがあった。今後も地域の子育て力を高めることを目的に広く募り、効果的な活躍の場の提供、活動内容の支援に努めていく。
2)-③-1			地域全体で子どもがのびのびと育つ環境をつくります	学びと交流の場の数	2か所	1か所	2か所	◎	福祉こども課	サード（学びと交流の場）	コロナウイルス感染防止対策を徹底して、2か所で計57回開催。コロナ対策により38回休止したが、児童は中途離脱者なく学習支援を継続。また、5回のイベント実施で楽しい居場所となり、新規の参加児童は9人みられた。このようにサードでは、経済面・家庭環境で支援を要する子どもたちに、安定した環境のもと継続的な生活・学習支援ができる場の提供を定期的に行うことができている。



No.	めざす町の姿	基本目標	施策	評価指標（KPI）	目標値	現状値	R3末実績	進捗状況	担当課	R3 指標の主な事業	R3 実績値に対する現状分析、今後の取り組み方針など
2)-③-2	みんなが楽しみながら子どもを大切に育てている	③子どもが健康にすくすく育つ環境を整える	子どもの健康を守る取り組みを行います	3歳児でむし歯のない幼児の割合	80%	77.10%	86.2%	◎	健康長寿課	歯科健康相談・乳幼児健診	むし歯のない3歳児の割合は増加しているが仕上げ磨きをする親は横ばいとなっているため、子どもの歯を守るため歯磨き・仕上げ磨きの習慣化を支援していく。
2)-③-2			子どもの健康を守る取り組みを行います	低出生体重児の割合	減少	11.20%	10.5%	◎	健康長寿課	母子健康手帳交付、ふあみり一学級（個別）	妊婦および家族等に対し保健指導を継続していく。
2)-③-3			子どもの発達過程や特性に応じた支援を行います	育てにくさを感じたときに対処できる親の割合	95%	89%	66.3%	×	健康長寿課	乳幼児健診・健康相談、子育て相談会	育てにくさや育児の困り感に寄り添い適切な支援を行う。また発達特性を持つ児や育てにくさを感じる保護者の支援のため、相談支援体制を充実していく。
2)-④-1		④子育ての負担を軽減する環境やサービスを増やす	ゆとりある子育てができるよう、仕事と子育ての両立を支援します	病児保育施設との連携強化数	3か所	2か所	4か所	◎	福祉こども課	病児保育事業の実施	置賜自立圏構想に加わった施設が2か所増。現時点ではりんごのへや（新規）、みつばちルーム（新規）、すまいる、げんきルームの4施設となる。令和4年度には本町に病児保育施設を開設する予定。
2)-④-1			ゆとりある子育てができるよう、仕事と子育ての両立を支援します	放課後児童クラブの定員数	372人	305人	350人	○	福祉こども課	高島町放課後児童健全育成事業	全体の定員は増加しているものの、施設によっては支援員や部屋の都合上、受入が困難になる場合もあるため、支援員の確保や環境整備を行い、保育の必要性のある児童が十分に利用できる体制作りをする。
2)-④-1			ゆとりある子育てができるよう、仕事と子育ての両立を支援します	3歳未満児の待機児童数	0人	0人	0人	◎	福祉こども課	高島町子どものための教育・保育給付事業	令和4年度4月1日時点で高島町内幼児施設設計利用定員数766名に対し、604名の申請を受けており、元年度以降、以上の定員を上回る申込がないため、保育の確保はできており、待機児童は発生していない。さらに令和5年度よりあいこく幼稚園が認可化するため、定員は微増する見込みである。
2)-④-1			ゆとりある子育てができるよう、仕事と子育ての両立を支援します	積極的に育児に参加している父親の割合	70%	56.50%	71.40%	◎	健康長寿課	ふあみり一学級（個別）	個別対応を継続している。子どもの年齢に応じた父親の育児を支援する機会を検討していく。
2)-④-2	子育て世代の経済的負担を軽減します		資格取得等の支援による就労人数（累計）	5人	1人	(R3) 1人 (累計) 4人	○	福祉こども課	生活応援給付金	計画通り進められているが、就業できるひとり親が少ないのが実状で、今後の取り組みとしては広く情報を発信し、必要な対象者に情報が届く体制を作っていく。	

No.	めざす町の姿	基本目標	施策	評価指標（KPI）	目標値	現状値	R3末実績	進捗状況	担当課	R3 指標の主な事業	R3 実績値に対する現状分析、今後の取り組み方針など
2)-④-2	みんなが楽しみながら子どもを大切に育てている	④子育ての負担を軽減する環境やサービスを増やす	子育て世代の経済的負担を軽減します	子育てについて困る町のひとり親の割合	35.60%	45.60%	23.80%	◎	福祉こども課	ひとり親家庭等生活向上支援事業	福祉こども課に相談員を1名配置。来所 185人、電話103人、訪問13回。コロナ禍で、生活不安等の窓口相談が増え、相談内容に対し課内で連携し対応を実施。ひとり親への相談窓口の周知や孤立した世帯との関わりを持つ活動にも注力していく。
2)-⑤-1		⑤課題を抱える子を育てる親が安心できる環境を整える	地域で安心して暮らせる保育・教育・医療体制を整えます	医療的ケア児に関する協議の場の設置	設置	-	広域設置 コロナ感染により資料配布	△	福祉こども課	置賜地域医療的ケア児支援連絡会（H30年度に広域で設置され、参画）	新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止となり、資料配布に留まった。庁内における保健、福祉、保育、教育の連携を強化し、支援体制を構築していく。
2)-⑤-2			親同士が悩みを共有できる交流の場をつくります	交流の場の開催回数（累計）	5回	-	27回	◎	福祉こども課	育児講座	子育て支援センターの行事として年間12回開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2回中止となった。町内の方を優先に参加を募ったが、町外の方の参加もあった。育児講座の内容検討し、無料託児についても知らせ参加者を募っていく。また、参加者同士がコミュニケーションをとることが出来るような交流場も設けていく。
3)-⑥-1	学びの場が充実して、魅力ある“高島人”が育っている	⑥子どもたちの中にある力を伸ばす教育を行う	人生を自ら切り開き豊かにする力を育みます	自ら課題を解決しようとする子どもの割合	69%	66.05%	63.50%	×	教育総務課	主体的・対話的で深い学びの実現	一人一台端末の導入により、今後ICTを活用した主体的な学びが期待できる。
3)-⑥-2			他者を思いやる心を育てます	自己を肯定できる子どもの割合	82%	80.90%	79.75%	×	教育総務課	道徳教育の推進 いのちの教育の推進	道徳の教科化により、道徳科の確実な実践が進んでいる。各校でいのちの教育を推進し自尊感情の醸成を目指している。
3)-⑥-3			生まれ育った町を愛する心を育てます	地域や社会をよくしたいと考える子どもの割合	57%	52.85%	63.05%	◎	教育総務課	地域教材を活用した授業の推進	コロナ禍により、地域行事が中止になったり、地域の方と関わる授業が行えなかったりし、地域を意識する機会が十分にもてなかった。
3)-⑥-4			安心して学べる教育環境を整えます	学校への地域人材の参加人数（年間）	増加	1,066人	546	×	社会教育課	各地区学校協働活動推進協議会	学校を核として地域住民等の参画や地域の特色を生かした事業を展開し、地域の将来を担う子どもたちを育成するとともに地域コミュニティの活性化を図っていく。コロナ禍での安全を確保したうえでの事業実施を検討し取り組んでいく。
3)-⑥-4			安心して学べる教育環境を整えます	大規模改修対象校（4校）の改修進捗率	25%	-	0%	△	教育総務課		統廃合等も視野に入れ、再検討する。

No.	めざす町の姿	基本目標	施策	評価指標（KPI）	目標値	現状値	R3末実績	進捗状況	担当課	R3 指標の主な事業	R3 実績値に対する現状分析、今後の取り組み方針など
3)-⑦-1		⑦学ぶ気持ちを大切に、地域の教育力をアップさせる	誰もが学びたくなる環境をつくれます	生涯学習講座への参加人数（年間）	維持	14,000人	9,360	×	社会教育課	地区づくり計画による研修会等	コロナ禍での事業内容の見直し、安全を確保したうえでの実施に取り組んでいく。
3)-⑦-1			誰もが学びたくなる環境をつくれます	図書館の利用者数（年間）	21,000人	16,100人	39,084人	◎	社会教育課	春のホンまつり、秋フェスタ、ワークショップなど	新型コロナウイルス感染防止の観点から、各種事業は参加人員を少なく設定しての開催とした。今後は状況を見ながら参加者を拡大させていきたい。
3)-⑦-1			誰もが学びたくなる環境をつくれます	出前講座・町民講座の利用者数（年間）	維持	2,500人	1,211	×	社会教育課	まちづくり出前講座、たかはた町民講座	ニーズに合わせたメニュー、内容を検討する。
3)-⑦-2			地域のつながりによる学びの場を広げます	地域における学びの場の数	増加	127か所	128	◎	社会教育課	自治公民館99館、社会教育関係21館、他8施設	世代交流・学びの場・体験活動の拠点として「場づくり」の充実を展開していく。
3)-⑦-3			学んだことを生かし、人を育てるしくみをつくれます	地域の先生登録者数（地域人材バンク）	100人	-	10	○	社会教育課	たかはた町民講座（登録講師）	登録講師が減少している。新たなメニューと若年層の講師確保に取り組む。
3)-⑧-1	学びの場が充実して、魅力ある“高島人”が育っている	⑧「ちがいを認めることができる人を増やす	一人ひとりを大切に、お互いを尊重する心を育てます	児童生徒に対する人権教育・福祉教育の実施回数（年間）	12回	7回	3回	×	統合	各小・中学校において人権教室を実施	人権教室開催のお願いをしても、要請がない学校がある。いじめ等の人権問題について考える機会なので、各校1回は実施したい。
3)-⑧-2			相談者の心に寄り添った相談、支援を行います	支援者の資質向上のための研修実施回数（年間）（民生委員・児童委員・老人福祉相談員・人権擁護委員・教育相談員）	維持	12回	54回	◎	統合	高島町民生委員児童委員研修会や主任児童委員会、月例会での研修を実施。外部のオンライン研修会にも積極的に参加した。	コロナ禍ではあったが、感染対策に努めながら全体の研修会や、月例会での研修会を実施した。また、オンライン研修会を有効的に活用できた。今後も資質向上のための研修を進めていく。
			老人福祉相談員定例会、民生委員児童委員協議会月例会	会議の中で民生委員等との情報共有を図り、連携して相談・支援しながら必要な人へはサービス利用につなげる。							
		人権擁護委員研修会	人権擁護委員の資質向上のために、研修会を年1回以上開催する。								
4)-⑨-1	技の継承と新たな取り組みで、産業に活力が生まれている	⑨若者があこがれる「カッコいい」産業を増やす	「カッコいい」「もうかる」農業づくりを支援します	農業産出額	82億円	78.7億円	94.1億円	◎	農林振興課		市町村別農業算出額（推計） ※農林業センサスを基にした国による推計
4)-⑨-1			「カッコいい」「もうかる」農業づくりを支援します	若者の就農者数（年間）	維持	5人	5人	○	農林振興課		新規学卒2名、Uターン就農者1名、新規参入者2名 新規就農者意向調査より
4)-⑨-1			「カッコいい」「もうかる」農業づくりを支援します	町公式YouTubeチャンネル農業番組制作本数（累計）	20本	1本	3本	○	農林振興課		

No.	めざす町の姿	基本目標	施策	評価指標（KPI）	目標値	現状値	R3末実績	進捗状況	担当課	R3 指標の主な事業	R3 実績値に対する現状分析、今後の取り組み方針など
4)-⑨-2	⑨若者があこがれる「かっこいい」産業を増やす  ⑩資源や人のつながりで、地域産業を盛りあげる  技の継承と新たな取り組みで、産業に活力が生まれている	⑨若者があこがれる「かっこいい」産業を増やす	商工業の維持・発展のための支援をします	製造品出荷額	7,044,349万円	5,789,941万円	5,769,362万円	×	商工観光課	・製造業設備投資等補助事業 ・新事業活動推進サポート補助事業	(実績は令和元年の数値)新型コロナウイルスの流行で急速に景気が悪化したことから、需要回復や経営の効率化、事業の多角化を目指す事業所を応援し、厳しい経営環境での事業の維持・発展を図るため、設備投資等補助事業を継続していく。
4)-⑨-2			商工業の維持・発展のための支援をします	商業年間商品販売額	2,869,855万円	2,731,634万円	2,731,634万円	×	商工観光課	・製造業設備投資等補助事業 ・新事業活動推進サポート補助事業	(実績は平成28年の数値)新型コロナウイルスの流行で急速に景気が悪化したことから、需要回復や経営の効率化、事業の多角化を目指す事業所を応援し、厳しい経営環境での事業の維持・発展を図るため、設備投資等補助事業を継続していく。
4)-⑩-1		⑩資源や人のつながりで、地域産業を盛りあげる	多様な連携による「もの・こと」づくりを推進します	製造業付加価値額	26,888百万円	22,100百万円	22,677百万円	○	商工観光課	・製造業設備投資等補助事業 ・新事業活動推進サポート補助事業	(実績は令和元年の数値)令和3年度は新型コロナウイルス流行の影響により売上の減少や原材料不足による減産を強いられる製造業者が多かった。資金繰りや設備投資、事業の多角化、販路拡大などをサポートする事業を引き続き実施して製造業の振興を図っていく。
4)-⑩-2			町内資源のフル活用による産業発展を支援します	農商工観連携事業の支援数	10事業	-	2事業	○	統合	・新事業活動推進サポート補助事業	令和3年度は新事業活動推進サポート事業支援が2件あり、うち農商工連携関連が1件あった。引き続き、事業の周知を強化し、事業所の積極的な取り組みを支援していく。
4)-⑩-2			町内資源のフル活用による産業発展を支援します	町外企業との連携事業数	7事業	2事業	0事業	×	商工観光課		新型コロナウイルスの影響で展示会の中止が相次いだため、出展の機会が消失し、交流事業の実施が困難となった。オンライン商談会など可能な形での交流を行いながら情報収集や連携の機会を確保するよう努める。
4)-⑩-2			町内資源のフル活用による産業発展を支援します	町内農畜産物の新規需要取引数	5	-	0	×	農林振興課		
4)-⑩-2			町内資源のフル活用による産業発展を支援します	地産地消取り組み事業数	33事業	28事業	29	○	農林振興課		
4)-⑩-2			町内資源のフル活用による産業発展を支援します	たかはたブランドの認証数	40商品	30商品	32商品	○	商工観光課	・「広報たかはた」でブランド認証商品を募集 ・屋内遊戯場もつくる内にたかはたブランドコーナーを設置	「たかはたブランドカード」を活用し、たかはたフェア等の催事でPRを行ったり、屋内遊戯場もつくるに常時の展示コーナー設けたりと、知名度向上を図ってきたが、認証商品の拡充までには至っていない状況である。

No.	めざす町の姿	基本目標	施策	評価指標（KPI）	目標値	現状値	R3末実績	進捗状況	担当課	R3 指標の主な事業	R3 実績値に対する現状分析、今後の取り組み方針など
5)-⑪-1	夢や希望が実現しライフスタイルに合った働き方ができている	⑪一人ひとりの生活に合った多様な働き方の選択肢を増やす	多様な働き方ができるよう支援を行います	情報提供手段の増加	4ツール	1ツール	3ツール	○	商工観光課	産業振興センター内にコワーキングスペースを設置	現在、書面、ホームページ等での情報提供を行っているが、フェイスブック、メールマガジンなど情報提供手段を増やしていく。 新たにコワーキングスペースを設置し、多様な働き方の受入れ施設としての機能を果たすことが期待され、予約サイトを活用して各種支援事業の発信充実に努める。
5)-⑪-2			やりがいのある仕事と出会う機会を作ります	新規高等学校卒業求職者の県内への就職率	80.20%	74.60%	80.19%	○	商工観光課	・町内企業説明会	近年の県内就職者は約7割で推移している。高島町雇用対策協議会と連携し、企業の人事担当者や高校の進路指導担当とも情報を共有しながら、町内企業への興味関心を高めることができるような方策を実施していく（職業体験会、企業説明会、ガイドブック配布など）。
5)-⑪-2			やりがいのある仕事と出会う機会を作ります	職業体験・企業説明会に参加した小中高校生の人数（年間）	280名	200名	76	×	商工観光課	・職業体験、町内企業説明会	令和3年度は高島高校での職業体験会（WAKUWAKUWORK）を実施し町内企業や仕事について知る機会を設けることができた。置賜地区雇用対策協議会実施の職業体験会にも町内企業が参加することで周辺市町の高校に通う生徒にもアピールできるようしていく。
5)-⑫-1		⑫新しいビジネスを創出しやすい環境を整える	創業・起業に役立つ情報を提供します	創業セミナーの受講者数（年間）	15人	15人	12人	×	商工観光課	・創業支援補助事業	商工会主催の創業セミナーは先着10名程度の定員で実施しており、参加者数は毎回ほぼ定員に達している。町広報への掲載で町民に広く事業を周知しているが、起業に至った実例や、各種優遇を受けられることなどのセミナー参加によるメリットを発信して起業への関心を高めていきたい。
5)-⑫-2			総業・起業を支援します	町の支援により創業・起業した者（社）の数	18件	8件	4人	×	商工観光課	・創業支援補助事業	創業セミナー参加者を対象とした開業経費の補助事業を活用し、起業意欲の高い人材に必要な知識と資金を提供できるよう支援を継続していく。

No.	めざす町の姿	基本目標	施策	評価指標（KPI）	目標値	現状値	R3末実績	進捗状況	担当課	R3 指標の主な事業	R3 実績値に対する現状分析、今後の取り組み方針など
6)-⑬-1	安心して生活できる環境があり、心豊かに暮らしている	⑬自然とともに、心豊かな暮らしを楽しむ人を増やす	自然の恵みを生かしたくらしを広げます	自然体験教室・自然体験イベントなどの実施回数(年間)	維持	31回	50回	◎	統合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植菌授業 2回</li> <li>・多面的支払交付金制度による生き物調査 5回</li> <li>・県、ステージアンサンブルと町の協定に基づく絆の森事業 2回</li> <li>・木工教室 4回</li> <li>・みどり環境交付金事業を活用した森林学習体験(高島小学校) 2回</li> <li>・多面的支払交付金制度による生き物調査 5回</li> <li>・県、1回</li> </ul>	新型コロナウイルス感染予防のため、高島小学校を対象に毎年実施している森林学習は開催できなかったが、交付金事業を活用することで、多くの方を対象に代替となる植菌授業など事業を実施できた。また、民間事業者が主体となった森林環境整備を実施できた。今後も交付金を活用し、幅広く木育の推進を図る。
6)-⑬-2			自然に親しみながら、のんびり、ゆったり暮らしたい人を応援します	田舎暮らし体験者数(累計)	10人	-	0	×	企画財政課	河川の水質調査	環境学習の主軸を地球温暖化対策とし実施していることから、現状維持の取組を続けていく。
6)-⑭-1		⑭安心して快適に生活できる環境を整える	安心な暮らしを支える公共インフラの整備をすすめます	橋梁の老朽化対策実施数(累計)	18橋	5橋	(R3)3橋(累計)12橋	○	建設課	道路メンテナンス事業(橋梁補修・橋梁更新)※国庫補助	国庫補助事業により、更新(ホックスカルバート)工事を行い、完了した。引き続き目的達成を図る。
6)-⑭-1			安心な暮らしを支える公共インフラの整備をすすめます	都市公園リニューアル事業(遊具施設)実施数(累計)	3公園	1公園	(R3)1公園(累計)3公園	◎	建設課	都市公園の長寿命化事業(交付金)	中央公園多目的広場の更新工事を終え、全ての都市公園にある遊具施設のリニューアルが完了した。
6)-⑭-1			安心な暮らしを支える公共インフラの整備をすすめます	歩道整備総延長	45.245km	44.245km	45.151km	○	建設課	交通安全対策事業(交付金等)	町道本町泉岡線(R3歩道設置延長L=256.0m)、町道深沼入生田線(歩道設置延長L=124.0m)の歩道工事を実施。今後も計画的に歩道設置工事を行う。
6)-⑭-1			安心な暮らしを支える公共インフラの整備をすすめます	水道管路の耐震化率	23%	20%	21%	○	上下水道課	高島地区老朽管更新事業	令和3年度は高島地区老朽管更新事業で1.6km、他事業で0.6kmの耐震管への更新を行い、耐震化率を1%向上することが出来た。引き続き高島地区老朽管更新事業に取り組み耐震化率の向上を目指す。目標値を達成するには大変厳しい状況である。
6)-⑭-2			ずっと住み続けたい住環境づくりを推進します	高島町住宅リフォーム支援事業による支援件数(年間)	50件	48件	62件	◎	建設課	住宅リフォーム支援事業(助成金、補助金)	広報活動により広く利用活用を促している。今後も継続して実施する。
6)-⑭-2			ずっと住み続けたい住環境づくりを推進します	空き家利活用件数(年間)	10件	-	0件	×	建設課	空き家バンクにより空き家の有効活用	物件登録が少ないので、空き家所有者へのPRを続けていく。

No.	めざす町の姿	基本目標	施策	評価指標（KPI）	目標値	現状値	R3末実績	進捗状況	担当課	R3 指標の主な事業	R3 実績値に対する現状分析、今後の取り組み方針など	
6)-⑭-3	安心して生活できる環境があり、心豊かに暮らしている	⑭安心して快適に生活できる環境を整える	冬期間の安全な生活環境づくりを行います	道路除排雪担い手確保件数	5件	0件	1件	○	建設課	町道除排雪業務	委託料補償を実施し、除雪業者の費用負担を軽減している。	
6)-⑭-3			冬期間の安全な生活環境づくりを行います	除排雪活動に継続して取り組む集落数	29集落	14集落	22集落	○	福祉こども課	集落単位での除排雪のしくみづくり支援	多くの自治会で活動が継続された。ただし、助成金の申請がないものの中には自治会内で活動が行われている集落もあり、活動実態の把握に努める。	
6)-⑮-1		⑮みんなで地域に気を配り「もしも」の時に助け合えるしくみを広げる	地域ぐるみで災害に対応できる力を高めます	福祉防災マップ作製集落数	54集落	39集落	44集落	○	福祉こども課	集落単位での地域支え合い（福祉防災）マップづくり支援	更新活動は5自治会で行われたが、新規作成は1自治会にとどまった。目標値到達に向け、引き続き各自治会への働きかけを継続する。	
6)-⑮-1			地域ぐるみで災害に対応できる力を高めます	自主防災組織率	100%	81.10%	98.31%	○	総務課	地区ごとの自主防災組織連絡協議会活動 自主防災組織による自主避難施設環境整備	地区ごとの自主防災組織連絡協議会設立（R2）、自主避難施設としての自治公民館環境整備がきっかけとなり、組織化が進んだ。残る集落についても、地区自主防災組織連絡協議会には加盟している。今後は、いかに実働できる組織にしていかに取り組む。	
6)-⑮-1		⑯一人ひとりが健やかで、ゆるやかに支え合っている	⑯生涯にわたって健康的に生活できる人を増やす	地域ぐるみで災害に対応できる力を高めます	消防団員数	785人	764人	682人	×	総務課	消防団員報酬増額（一般団員のみ+2,000円）改定、報酬の個人口座振込	令和4年4月にも大幅な報酬増額改定をしているが、その効果が表れるまで数年はかかると思われる。少子化と人口減少の影響が大きく影響しており、団員の増加自体難しい。本町においては総務省の基準の2倍以上の団員定数（807名）となっており、今後、見直しが必要と考えている。
6)-⑮-2				地域での犯罪や事故を未然に防ぎます	運転免許証自主返納者数（年間）	80人	63人	91	◎	生活環境課	交通安全協力団体との啓発活動	自主返納者数は増加傾向にある。免許を返納しても暮らしやすいまちづくりを目指しながら、高齢者に対し免許返納を呼びかける啓発活動を行う。
6)-⑮-2				地域での犯罪や事故を未然に防ぎます	犯罪認知件数（年間）	45件	53件	49	○	生活環境課	高島町防犯協会各支部による青色防犯パトロール等	目標値には届かなかったが減少傾向にある。引続き青色防犯パトロールを実施し、侵入窃盗を防ぐための鍵かけ啓発活動などに力を入れていく。
6)-⑮-2		地域での犯罪や事故を未然に防ぎます	交通事故（人身）の発生件数（年間）	85件	93件	55	◎	生活環境課	各交通安全協力団体との啓発活動	コロナ禍の影響で外出が減ったためか、交通事故は大幅に減少している。この低い水準を維持するため、積極的に啓発活動を行っていく。		
7)-⑯-1		一人ひとりが健やかで、ゆるやかに支え合っている	⑯生涯にわたって健康的に生活できる人を増やす	地域ぐるみで健康に対する意識を高め、生活習慣病を防ぎます	日頃から運動している人の割合	30%	23.86%	0.00%	△	健康長寿課	健康マイレージ事業・健康運動講座	運動のきっかけづくりや継続のため講座を開催していく。
7)-⑯-1				地域ぐるみで健康に対する意識を高め、生活習慣病を防ぎます	喫煙者の割合	12%以下	24.50%		△	健康長寿課	禁煙支援講座	禁煙したい人が禁煙に取り組めるような支援を行うとともに防煙講座も併せて実施していく。

No.	めざす町の姿	基本目標	施策	評価指標（KPI）	目標値	現状値	R3末実績	進捗状況	担当課	R3 指標の主な事業	R3 実績値に対する現状分析、今後の取り組み方針など
7)-⑩-1	一人ひとりが健やかで、ゆるやかに支え合っている	⑩生涯にわたって健康で活動的に生活できる人を増やす	地域ぐるみで健康に対する意識を高め、生活習慣病を防ぎます	健康に関心のある人の割合	50%	36.60%		△	健康長寿課	健康マイレージ事業・健康情報発信	広報等を活用し健康に関する情報をタイミングよく提供していく。
7)-⑩-1			地域ぐるみで健康に対する意識を高め、生活習慣病を防ぎます	地域活動に参加している人の割合	30%	26.90%		△	健康長寿課	健康運動サポーター・食生活改善推進員養成講座	地域活動の担い手の育成と、町民の身近で活動できる場所をつくっていく。
7)-⑩-2			こころの健康づくりを進めます	自殺死亡率(人口10万対)	13.1以下	18.7	16.0	○	福祉こども課	地域自殺対策強化事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、直前での事業中止等計画通りに実施できなかった。感染症予防に配慮しながら、関係機関との連絡を強化し、効果的な事業の推進に向けて取り組んでいく。
7)-⑩-3			安心して利用できる医療サービスを提供します	後期高齢者医療の訪問診療利用者延べ人数(年間)	増加	3,804人	3,507人	×	町民課	なし	後期高齢者医療被保険者数の減少で、訪問診療(在宅医療)利用者が目標値よりも減少している状況が続いている。後期高齢者医療被保険者は施設利用者が多く、施設入所すると、医師や看護師が常駐している場合もあり、安心して医療サービスを受けることができる。令和3年度は前年度よりも在宅医療利用者が150人ほど減少しているが、新型コロナウイルスの感染者が多くなり、クラスターも多数発生したため、他人との接触を避けたいという考えが影響しているものと考えられる。なお、訪問診療は医療機関での受診よりも医療費が高いため、訪問診療利用の減少は保険者、被保険者双方の医療費負担が減る面もある。
7)-⑪-1		⑪地域の中でゆるやかに支え合うしくみを広げる	持続可能な地域のありかたを考える機会をつくります	集落座談会を開催した集落数(累計)	55集落	40集落	53集落	○	福祉こども課	集落単位での地域支え合い(福祉防災)マップ作成時に併催するように呼び掛ける	年間目標(3集落)以上に進められた。目標値到達に向け、引き続き各自治会への働きかけを継続する。
7)-⑪-2			得意なことを生かしたボランティア活動を広げます	ボランティアセンター登録者数	1,850人	1,751人	1,974人	◎	福祉こども課	ボランティアセンターの運営	目標値には到達した。今後、各団体の会員数減や解散などで登録者数が減少することも想定される。
7)-⑪-3	誰でも気軽に立ち寄れる居場所づくりを支援します		地域の居場所の数	9か所	6か所	10か所	◎	福祉こども課	子どもの居場所づくり運営支援事業 若者の居場所づくり運営支援事業	子どもや若者の居場所づくりへの取組が地域で充実・拡大していくことを目的に2事業を実施。その結果、新規の居場所が3か所立ち上がり、3月末時点で町内に10か所の居場所が運営されている。 ※子ども食堂・子どもの居場所4か所、学習支援2か所、若者の居場所3か所	



No.	めざす町の姿	基本目標	施策	評価指標（KPI）	目標値	現状値	R3末実績	進捗状況	担当課	R3 指標の主な事業	R3 実績値に対する現状分析、今後の取り組み方針など
8)-(18)-1	年を重ねても誰もが自分らしくいきいきと暮らしている	⑩生きがいを持ち人生を楽しんでいる人を増やす	豊富な経験や技能を活用した生きがいづくりと社会参加を進めます	地域の茶の間の開設数	6か所	4か所	5か所	○	健康長寿課	既存団体への指導相談と未設置地区への働きかけを実施	屋代地区に「もりの里茶の間ひなたぼっこ」が開所したが、新型コロナウイルスの感染防止のために各地域の茶の間はほぼ活動中止となっていた。未設置の亀岡地区の地域の茶の間の設置にむけ関係団体への働きかけを継続して行う必要がある
8)-(18)-2			人生を元気に過ごせるよう介護予防を強化します	住民主体の介護予防の場	35か所	24か所	57か所	◎	健康長寿課	既存団体への指導相談と未設置集落への働きかけを実施	生活支援コーディネーターの働きかけもあり、5か所に新規立ち上げ。今後も既存団体への指導相談と未設置集落への働きかけに取り組む。
8)-(19)-1		⑪住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられる環境を整える	高齢者の日常生活を支えるしくみをつくります	集落のサロン数	50か所	34か所	73か所	◎	健康長寿課	既存団体への指導相談と未設置集落への働きかけを実施	生活支援コーディネーターの働きかけもあり、4か所に新規立ち上げ。今後も既存団体への指導相談と未設置集落への働きかけに取り組む。
8)-(19)-1			高齢者の日常生活を支えるしくみをつくります	買い物、通院、除雪支援を行う住民主体の団体	6団体	1団体	1団体	△	健康長寿課	既存団体への指導相談	新たな団体の掘り起こしを検討したが、立ち上げに至らなかった。
8)-(19)-2			医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らせる体制をつくります	在宅療養(看取り)の普及啓発事業開催回数(年間)	2回	2回	0回	×	健康長寿課	町民対象の「人生の終い方」講演会の開催	主に高齢者を対象にした講演会を予定しているが、新型コロナウイルスの感染を防止する為、中止とした。
8)-(19)-2			医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らせる体制をつくります	認知症サポーター数(累計)	3,000人	2,303人	2,658人	○	健康長寿課	認知症サポーター養成講座年間10回実施	継続して養成講座を開催し、認知症について理解し地域の中で支援する町民を増やす。また、サポーターの活動支援について展開していく。
8)-(19)-2			医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らせる体制をつくります	見守りネットワーク協力機関数	70か所	65か所	66箇所	○	健康長寿課	認知症サポート企業のPRと合わせて働きかけた	関係機関等へのPRを行い、新規の見守り協力企業等を増やすと共に、認定企業についても登録数を増やす。
8)-(19)-3			介護者の負担を減らします	介護者研修会(交流会)参加者数(年間)	60人	47人	12人	×	健康長寿課	家族介護者交流会	新型コロナウイルス感染症対策から飲食なしで山響コンサートの鑑賞を行った後で交流会を実施した。今後の開催時期と内容について検討が必要。
8)-(19)-3			介護者の負担を減らします	認知症カフェの利用者数(年間)	400人	347人	0人	×	健康長寿課	認知症カフェ:委託1か所、自主事業1か所	高齢者施設で開催している認知症カフェについては、コロナウイルス感染症防止のため開催できなかった。感染予防を図りながら実施する方法について検討が必要。

No.	めざす町の姿	基本目標	施策	評価指標（KPI）	目標値	現状値	R3末実績	進捗状況	担当課	R3 指標の主な事業	R3 実績値に対する現状分析、今後の取り組み方針など	
9)-⑳-1	みんなで未来に向けたまちづくりをすすめている	⑳地域の自然や生態系を守る活動を広げる	自然を大切にすることを育みます	食農教育の実践学校数	維持	7校	7校	◎	教育総務課			
9)-⑳-1			自然を大切にすることを育みます	自然体験教室・自然体験イベントなどの実施回数(年間)再掲	維持	31回	50回	◎	統合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植菌授業 2回</li> <li>・多面的支払交付金制度による生き物調査 5回</li> <li>・県、ステーションサンプルと町の協定に基づく絆の森事業 2回</li> <li>・木工教室 4回</li> <li>・みどり環境交付金事業を活用した森林学習体験(高畠小学校) 2回</li> <li>・多面的支払交付金制度による生き物調査 5回</li> <li>・県、1回</li> </ul>	新型コロナウイルス感染予防のため、高畠小学校を対象に毎年実施している森林学習は開催できなかったが、交付金事業を活用することで、多くの方を対象に代替となる植菌授業など事業を実施できた。また、民間事業者が主体となった森林環境整備を実施できた。今後も交付金を活用し、幅広く木育の推進を図る。	
											河川の水質調査	環境学習の主軸を地球温暖化対策とし実施していることから、現状維持の取組を続けていく。
											(再掲)地区づくり計画、教育キャンプ、放課後子ども教室他	コロナ禍での事業内容の見直し、安全を確保したうえでの実施に取り組んでいく。
9)-⑳-2		豊かな自然を守り、次世代に継承します	有機・特別栽培水田面積	維持	712ha	645	×	農林振興課	特になし	水稻の作付け面積減少に伴い、有機農業の面積も減少した。国が行う「みどりの食料システム戦略」と連携し、取組面積を拡大したい。		
9)-⑳-2		豊かな自然を守り、次世代に継承します	耕作放棄地面積	130ha	141ha	129ha	◎	農業委員会	農地パトロール	引き続き、農地利用の最適化及び耕作放棄地の再生事業の推進に取り組む。		
9)-⑳-2		豊かな自然を守り、次世代に継承します	屋代川の水質調査	2mg/L以下	1.2mg/L	1	◎	生活環境課	河川の水質調査	目標達成できている		
9)-㉑-1		⑳持続可能な環境づくりに取り組む人を増やす	環境にやさしいライフスタイルを定着させます	COOL CHOICE賛同者・企業数(累計)	1,100人・60団体	954人・40団体	1,052人・43団体	○	生活環境課	かんきょうフェア	かんきょうフェア内で、環境にやさしいライフスタイルを周知することで賛同者を増やすことができたため、継続して取り組んでいく。	
9)-㉑-2		効果的・効率的なエネルギー対策に取り組めます	公共施設の温室効果ガス排出量(年間)	5,258t-CO2	5,779t-CO2	4,704t-CO2	◎	生活環境課	排出係数の低い電気への切り替え	排出係数の低い電気への切り替えによる減少が大きかったが、電気使用量自体の削減にも継続して取り組んでいく。		
9)-㉑-2		効果的・効率的なエネルギー対策に取り組めます	再生可能エネルギー導入容量(固定価格買取制度適用分)	9,200Kw	8,694Kw	9,116Kw	○	生活環境課	再生可能エネルギー設備導入事業費補助金	再生可能エネルギー設備導入に対し、補助金を交付し支援を行うことで導入の促進を図ることができたため、継続して取り組んでいく。		

No.	めざす町の姿	基本目標	施策	評価指標（KPI）	目標値	現状値	R3末実績	進捗状況	担当課	R3 指標の主な事業	R3 実績値に対する現状分析、今後の取り組み方針など
9)-㉑-3	みんなで未来に向けたまちづくりをすすめている	①持続可能な環境づくりに取り組む人を増やす	循環型社会の形成を進めます	最終処分廃棄物量	700t/年	766t/年	744t/年	○	生活環境課	置広での可燃物焼却灰埋立、不燃物処分量	目標達成に向け取り組んでいる。コロナ禍での外出自粛などもあったが若干減少した。災害などでも増減はあるため、見通しは不明。
9)-㉒-1		②歴史、文化遺産を守り活用し、伝承する人を増やす	歴史や文化遺産を正しく理解し、大切に守ります	歴史文化学習会の開催数(年間)	45回	42回	40	×	社会教育課	古文書解読講座、考古学セミナーなど	新型コロナウイルス感染拡大により中止となった事業が多かった。予定通り行えば、目標値を達成することができた。
9)-㉒-2		文化遺産を活用し、潤いのある暮らしをつくります	文化遺産の活用事業数	5事業	2事業	2	△	社会教育課	歴史公園ライトアップ事業	同上	
9)-㉓-1		③夢や志を持ち活躍する若者を増やす	若者がまちや地域を知るための機会を提供します	40歳未満の若者を対象とした町・地区事業の実施回数(年間)	増加	94回	63	×	社会教育課	各地区の青少年講座・成人一般講座の回数	実績値が目標値を下回った。今後はニーズ調査を行い、若者が必要としている事業等の情報を収集しながら事業を検討していく。
9)-㉓-1			若者がまちや地域を知るための機会を提供します	中高生や若者によるまちづくり企画の支援回数(累計)	40回	-	(R3)48回 (累計)100回	◎	統合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青年団体連絡会</li> <li>・国内研修(まちの新人研修)</li> <li>・若者地域育成事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人式実行委員会を対象に「まちの新人研修」を実施し地域を知るための機会を提供していく。</li> <li>・地区づくり推進事業等により若者の自主的な取り組みを支援していく</li> </ul>
										東大FS、外大ST、九里学園ST、出前講座等	東大FSや東京外国語大学STは、コロナの影響により県境を越えて対人での交流は難しかったが、一部オンラインに切り替え、地元学生に対して特別授業を実施した。また、九里学園STは、フィールドワークを中心に、食と健康をテーマに探求学習を進め、地域協働でのまちづくりの関係を構築できた。高島でモデルケースとなる教育プログラムを作っていく。

No.	めざす町の姿	基本目標	施策	評価指標（KPI）	目標値	現状値	R3末実績	進捗状況	担当課	R3 指標の主な事業	R3 実績値に対する現状分析、今後の取り組み方針など
9)-⑳-2	みんなで未来に向けたまちづくりをすすめている	㉓夢や志を持ち活躍する若者を増やす	夢や志を持つ若者を応援します	若者活動団体による若者を対象とした事業・活動の実施回数及び参加者数(年間)	増加	14回・520人	11回・89人	×	社会教育課	・青年団体連絡会会議 ・若者地域育成事業会議・イベント	自主的、自発的な活動を促し、事業が継続できるように支援していく。
9)-⑳-2			夢や志を持つ若者を応援します	若者の夢や志を支援するプロジェクト事業実施回数	5事業	-	(R3)5事業 (累計)14事業	◎	統合	高校生ボランティアサークル地球  東大FS、外大ST	携わる中高生の活動を支援し、事業を継続していく。事業内容に合わせて関係機関と連携した取り組みを行う。  東京大学FSや東京外国語大学STにおいて、地元学生の将来の選択肢を増やす目的で、地元で活躍する大人や町内企業へのインタビューをする特別授業を実施した。町の魅力に触れることで、地域について関心を高め、自分の将来について考える機会を創出できた。来年度も事業を継続し、教育に関わる大人、町内企業を増やしていく。
9)-㉑-1		㉔協働でまちづくりを進めるための環境を整える	町民が参加・参画しやすい協働のしくみをつくります	町民とのまちづくりワークショップや人材育成事業の実施回数(累計)	100回	27回	(R3)48回 (累計)124回	◎	統合	東大FS、ブランド戦略プロジェクトチーム(人材育成)	東大FSにおいて、町民の方へのインタビューを中心とした活動を、オンラインも含め11回実施した。また、ふるさと納税返礼品の商品開発をテーマに、町役場若手職員によるプロジェクトチームを組織し、町内企業と共同で5つの返礼品が登録された。今後は、町内のリーダー・経営人財の育成に取り組んでいく。
										高島町民生委員児童委員研修会、福祉のつどい	福祉のつどいでは、人権と差別解消をテーマとした「一人ひとりが幸せに生きるための権利～人にやさしい町をめざして～」と題して、立教大学交流講座を開催した。防災×福祉×男女共同参画連携セミナーを企画したが、コロナの感染拡大により延期となった。今後も、機会を捉えて連携しながら取り組む。
9)-㉑-2	将来を見据えた行財政運営と職員育成を進めます		財政力指数	0.387%	0.387%	0.381	×	企画財政課	・たかはた農とびあ実行委員会 開催回数 2回	若手農業者を主体とし、農業者間のネットワーク構築と互いに学び合う場づくりを目的に開催。コロナ禍の活動制限もあり、多人数での交流事業は見合わせており、今後も状況を見極めながら活動を継続していく。	
9)-㉑-2	将来を見据えた行財政運営と職員育成を進めます	派遣研修受講職員の延べ人数	120人	110人	114人	○	総務課		専門分野派遣(28名)、県研修所(73名)、置研協(13名) 延べ114名		

No.	めざす町の姿	基本目標	施策	評価指標（KPI）	目標値	現状値	R3末実績	進捗状況	担当課	R3 指標の主な事業	R3 実績値に対する現状分析、今後の取り組み方針など
10)-㉔-1	高島町の魅力が伝わり、訪れる人、戻る人、移り住む人が増えている	㉔町内外に町の魅力を効果的に発信する	高島町といったらこれという町の魅力を再発見します	ふるさと名物応援宣言による地域ブランド商品サービスの開発件数	5件	-	131件	◎	商工観光課	ふるさと納税事業	ふるさと名物応援宣言の取り組みからふるさと納税返礼品の開発に方針を切り替え、地域資源の発掘や磨き上げを実施した。令和3年の実績として、新たに131件の返礼品を登録し、ふるさと納税の仕組みを活用し、首都圏を中心にプロモーションを行った。今後も魅力ある返礼品の拡充を図っていく。
10)-㉔-2			戦略的なプロモーションを行います	首都圏プロモーションの実施回数(年間)	10回	5回	11回	◎	商工観光課	首都圏プロモーション事業、海外プロモーション事業	京王プラザホテルと連携し、当町のラフランスを使用したカクテルやデザートを提供する高島町ファン感謝祭事業を企画し、関係人口拡大に向けて取り組んだ。また、町内食品加工企業の販路拡大を目的とし、海外プロモーション事業を実施、SNSを活用した情報発信やオンライン商談会等を実施した。台湾やシンガポール市場への進出のため、海外事業関係者（JR東日本やJETRO等）とのつながりを強化していく。
10)-㉕-1		㉕高島町ならではの発想による観光を生み出し、訪れる人を増やす	観光者の滞在時間を増やす新たな観光プログラムをつくります	町内宿泊者数(年間)	34,372人	29,372人	20,505人	×	商工観光課	町総合観光推進協議会事業	新型コロナウイルスの流行が大きく影響し、観光客数、宿泊者数が激減している。コロナ禍の中でも出来ることとして、現在、観光資源の発掘及び磨き上げに取り組んでおり、高島ならではの新たな観光プログラムをつくり、誘客を図っていききたい。
10)-㉕-1			観光者の滞在時間を増やす新たな観光プログラムをつくります	外国人宿泊者数(年間)	5,000人	484人	127人	×	商工観光課	町総合観光推進協議会事業	新型コロナウイルスの流行が大きく影響し、町内を訪れる観光客数が激減していることも影響している。コロナの終息まで外国人観光客の誘客は難しが、終息後に向けて魅力ある滞在型メニューづくりに今後取り組んでいく必要あり。
10)-㉕-2			高島町ならではの観光情報の発信を強化します	町公式ホームページ観光サイトの閲覧数	10,000回	-	15,891回	◎	企画財政課	町公式ホームページ観光サイト令和3年度閲覧数	・イベントの開催に伴った、イベント情報の告知によって閲覧数が伸びた ・イベント情報以外にも観光資源・スポット等の情報を充実させていく
10)-㉕-2			高島町ならではの観光情報の発信を強化します	町の魅力発信ワークショップ参加者数	120名	-	0	×	商工観光課	-	コロナ禍も影響し実施できていないが、今後の開催にむけて検討していく。

No.	めざす町の姿	基本目標	施策	評価指標（KPI）	目標値	現状値	R3末実績	進捗状況	担当課	R3 指標の主な事業	R3 実績値に対する現状分析、今後の取り組み方針など
10)-②⑥-2	高島町の魅力が伝わり、訪れる人、戻る人、移り住む人が増えている	②⑥高島町ならではの発想による観光を生み出し、訪れる人を増やす	高島町ならではの観光情報の発信を強化します	町公式YouTubeチャンネル再生回数	100,000回	17,761回	60,732回	○	企画財政課	町公式YouTubeチャンネル再生回数(累計)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規動画を8本更新した(最高再生回数454回、平均再生回数263回)</li> <li>イベントの開催に伴った、PR動画を中心にUPしたことで、視聴者の目を引くことができた</li> <li>今後はイベントPR動画や講座のオンライン配信等の更新を検討し、クオリティの高い新規動画をあげていく</li> </ul>
10)-②⑦-1		②⑦交流力を高め、高島町を応援する人や地域を増やす	さまざまな場所から人が訪れ、高島町を体感できる機会を増やします	町内農業体験者数(年間)	700人	513人	0	×	農林振興課	・ゆうきの里さんさんを利用した農業体験者数、屋代村塾、修学旅行受入れ数	新型コロナウイルス感染拡大のため、従来のような農業体験の受入れができなかった。
10)-②⑦-1			さまざまな場所から人が訪れ、高島町を体感できる機会を増やします	熱中小学校プロジェクトによる交流人口(年間)	2,500人	2,281人	1,329人	×	企画財政課	熱中小学校プロジェクト	令和2年度実績(493人)からは改善したものの、新型コロナウイルス感染症の影響によるオンライン形式の導入等により、来校者数は現状値より減少している。今後も実際の来校者とオンライン形式も取り入れたハイブリッドを採用するが、新型コロナウイルス感染症対策を取ったうえで交流人口増となるような事業展開を計画している。
10)-②⑦-2			継続して高島町と関わりを持つ団体・企業・地域を増やします	県外の企業・自治体・大学等と協働で3年間以上継続している事業の数(累計)	10件	6件	(R3)7件 (累計27件)	◎	統合	福祉のまちづくり推進委員会委員長、福祉のつどいの講師  ・すみだまつりへの参加 ・道の駅村田での農産物販売 ・京王プラザホテル  ・自治体(横浜市栄区・横浜市旭区、東京都江戸川区・宮城県山元町)との物産展を通しての交流事業 ・トレッサ横浜(大型ショッピング店)での物産販売・町PR事業	コロナ禍の影響ですみだまつりは中止となり、道の駅村田でも一部開催を見送ったものの、農産物販売イベントを定例開催した。今後も、コロナ禍の影響を考慮しながら交流を発展させていく。  コロナの影響により物産イベントの中止が相次いだため実施件数は減少したが、長年交流が続いている横浜市栄区とはオンラインを活用し情報交換を行った。また、町内特産品をお送りし、栄区の方々が販売員となる新たな物産イベントの取り組みを実施しながら、つながりを感じられる取り組みとなった。

No.	めざす町の姿	基本目標	施策	評価指標（KPI）	目標値	現状値	R3末実績	進捗状況	担当課	R3 指標の主な事業	R3 実績値に対する現状分析、今後の取り組み方針など
10)-⑰-3	高島町の魅力が伝わり、訪れる人、戻る人、移り住む人が増えている	⑰交流力を高め、高島町を応援する人や地域を増やす	町外にいても高島町を応援してもらえるしくみをつくります	都市部で主催する交流事業の参加者数（年間）	100人	50人	0	×	統合	・東京高島まほろば会との交流事業 ・友好都市との交流事業	R3もコロナ禍で都市部での事業展開は困難であった。まほろば会や横浜市栄区などにおいては、会報等を通じて情報発信を行ったりと交流を図ってきたが、継続して取り組んでいきたい。
10)-⑰-3			町外にいても高島町を応援してもらえるしくみをつくります	ふるさと納税の申込延べ人数（年間）	2,500件	1,509件	14,811件	◎	商工観光課	ふるさと納税事業	令和3年度の実績は、寄附件数14,811件、寄附金額249,359千円、取扱返礼品数 425品、県内順位22位。掲載サイトは、7サイト（ふるさとチョイス、楽天ふるさと納税、三越伊勢丹ふるさと納税、ANA、JRE-MALLふるさと納税、ふるなび、クレディセゾンのふるさと納税）。令和4年度の目標金額は400,000千円。WEBマーケティング分析を活用し、効果的な商品ページの制作、WEB広告の実施を進める。
10)-⑳-1		⑳移住・定住しやすい環境を整え、戻ってくる人、移り住む人を増やす	高島町に住みたくなるきっかけをつくります	移住相談（問い合わせ）件数（年間）	100件	8件	66件	○	統合	・新規就農オンライン相談会ほか 対応人数 44名 ・町総合観光推進協議会事業	引き続き、高島に住みたくなるような魅力ある地域資源やイベント等をSNSを活用しながら発信していく。
10)-⑳-2			高島町に移り住む人を応援します	空き家バンク成約数（町外の方の累計）	50件	1件	0件	×	建設課	・空き家バンクの活用、若者定住促進事業	空き家バンク活用による移住希望者が多いが、登録物件が不足している。
10)-⑳-3			移住した人たちが永く住み続けられるようサポートします	移住者支援事業の開催回数（年間）	3件	0件	3件	◎	統合	①移住相談会：やまがたハッピーライフカフェ、山形U・1ターンフェア ②移住体験：高島町 地域インターン	① 山形県等との共同での開催に参加したもの。 ② 地方創生推進交付金を活用し、熱中学校教育事務局が主催する形式として開催したもの（学生を中心に23名が参加）